

(別 紙)

岩泉地区合同庁舎暖房設備運転管理業務仕様書

1 建物の規模

鉄筋コンクリート造 4階建 2, 414.05㎡

2 委託対象設備

別表1のとおり

3 運転期間及び運転操作時間

別表2のとおり

4 業務内容

- (1) 「ボイラー及び圧力容器安全規則」その他の関係法令を遵守し、庁舎各室の温度、湿度が適正に維持されるようボイラー及び附属設備の取り扱いを行うこと。
- (2) 「ボイラー及び圧力容器安全規則」その他の関係法令を遵守し、各給湯箇所に適正に給湯が行われるようボイラー及び附属設備の取り扱いを行うこと。
- (3) ボイラー及び附属設備が正常に機能するよう、別表3の基準により日常点検を実施すること。
- (4) 消防法その他の関係法令を遵守し、地下燃料タンク及びその配管の点検を実施すること。
- (5) パッキンの交換、給油、ストレーナーの清掃等の小整備を実施すること。
- (6) 部品の交換その他修理を要すると認められる場合は、速やかに庁舎管理者に報告するとともに、必要と認められる場合は、応急措置を行うこと。
- (7) 別紙様式による業務日誌を提出して、庁舎管理者の確認を受けること。
- (8) 関係官庁に対する諸届業務を代行し、立ち入り検査時に立会いすること。

5 技術資格

二級以上のボイラー技士及び甲種危険物取扱者又は乙種危険物取扱者（第4類）の資格を有するものを配置すること。

6 現場責任者

受託者は、管理者との連絡調整及び業務従事者の指揮監督を行わせるための責任者を選任するものとする。

別表 1 委託対象設備

1 ボイラー

| 種 類 | 形 式 | 最高使用圧力 | 伝熱面積 |
|---------|----------|--------------|---------------------|
| 暖房用ボイラー | 真空式温水発生機 | 0. 6 9 M p a | 6. 1 m ² |

別表 2 運転期間等

1 運転期間

| 種 類 | 運 転 期 間 | |
|---------|-----------|----------|
| | 開 始 | 終 了 |
| 暖房用ボイラー | 4 月 1 日 | 4 月 9 日 |
| | 1 1 月 4 日 | 3 月 31 日 |

※ ただし、閉庁日（土日祝日年末年始）を除く。

2 運転時間

| 種 類 | 曜 日 | 運 転 時 間 | |
|---------|-----|-----------|-------------|
| | | 開 始 | 終 了 |
| 暖房用ボイラー | 平 日 | 7 時 3 0 分 | 1 7 時 0 0 分 |

※ 運転時間は、その日の気温条件等の判断により、適宜延長・短縮・休止を行うものとする。

別表3 点検基準

暖房設備の点検整備基準は、ボイラーメーカー発行の取扱要領によるものの外、次の項目とする。

| 機 器 名 | 点 検 整 備 項 目 | 回 数 |
|--|--|-------|
| 1 ボイラー附属機器及び燃焼装置、水面計、圧力計、温度計、ダンパー、圧力スイッチ、着火装置、インターロック回路等 | 運転前の点検、作動テスト、機能テスト、状態点検、運転中の監視、ブロー等の実施 | 毎 日 |
| 2 給水装置、水源、温水循環ポンプ等 | 点検、作動状態の監視 | 週 1 回 |
| 3 地下燃料タンク、サービスタンク、ギャーポンプ、配管等 | 状態点検 | 週 1 回 |
| 4 ボイラー操作盤、各種モーター等 | 作動点検 | 毎 日 |
| 5 各種ストレーナー等 | 清掃 | 週 1 回 |
| 6 放熱器、放熱器弁 | 状態点検 | 必要の都度 |
| 7 バーナーチップ、着火装置、ファン等 | 清掃 | 週 1 回 |
| 8 ボイラー炉、煙突等 | 燃焼の状態、排ガスの監視及び記録 | 常 時 |
| 9 ボイラー室等 | 室内の整理、整頓 | 常 時 |
| 10 その他 | 必要な点検整備 | 必要の都度 |